

令和2年度 創竹会総会報告

議 事

- ・令和元年度事業報告、同決算報告、および同監査報告
- ・令和2年度 創竹会役員選出
- ・令和2年度 事業計画、同予算案

ホームページでお伝えしましたとおり、令和2年7月17日(金)第20回創竹会総会が開催され、活発な質疑応答が行われました。全議案とも滞りなく可決承認されました。



令和2年度 役員

会 長 古谷顯史郎

副会長 宇田川耀平

武居 哲洋

飯田 道郎

阿部 徹

神沼 厚史

高島 裕

顧 問 二瓶 好正

三嶋 明

村上 一路

荒井 正剛

理 事 阿部 芳枝

奥津 浩美

中原由佳里

小坪 佳子

白石 裕子

柴田 和子

丸山 正江

荒井 真美

遠藤 佳代

五藤みち子

雲雀寿美子

石黒 早苗

濱田 智恵

石井 久子

中岡 直美

山本 享子

小山久美子

橋本 淑恵

松尾 英美

岡崎美弥子

林 靖子

横井千恵子

川村 まき

財津 愛

監 事 加藤 太智
高島 正子



副校長
森 顕子

竹早中学校の不易と流行 ―安全な学校生活

会員の皆さま、常日頃から竹早中学校に多大なるご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。冬の終わり、世界は一変して、今や「例年どおり」が一つもないゼロベースからの対応を積み重ねる日々です。「新しい生活」を送るためには、大量の消毒液や体温を感知するサーモグラフィ、昼食時に机の上に置くパーティション、飛沫を防ぐフェイスシールド等が必要となりました。すでに、それは日常となっています。また、休校措置が執られたときのためには、生徒も教員も自宅のICT環境を整備しなければなりません。学校行事も、校外学習は中止となり、運動会・文研についても検討を重ね、縮小した形で行いました。何よりも、いかに学力をつけていくのか。長期休暇を短縮する等、考え得ることに取り組んでいます。一方で、竹早中学校の不易の部分であらためて見つめるよい機会ととらえて、そこに流行をあわせて、安全な学校生活を送れるようにしっかりと進めていきたいと思ひます。今後ともお支えくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

お知らせ

書籍販売

子どもが輝く ―幼小中連携の教育が教えてくれたこと―

竹早地区において、これまで歩んできた幼小中連携研究の歴史を中心に、日々の授業・活動・保育の様子やその日々を支える研究活動をまとめた本です。

平成30年9月に出版以来好評につき、限定割引価格2,000円(税込)で販売をいたします。

※書籍販売の収益は、生徒たちの教育活動のために役立ててまいります。

※ご購入をご希望の方は学校までお問い合わせください。(takechu@u-gakugei.ac.jp)



編集後記

創竹会についての理解を深めていただけるよう「創竹会だより」を年1回発行しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、例年のように学校行事が行えない状況ではありますが、これまでどおり、子どもたちが竹早中学校で安心して学校生活を過ごせるよう役員一同願っております。竹早中学校の教育環境の向上のため、令和4年の竹早中学校創立75周年に向け一丸となって活動してまいります。

会員の皆さまには引き続きご支援・ご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。(創竹会 在校生理事)

創竹会だより

No.20

令和2年12月1日発行

会員の皆様へ



創竹会会長
古谷顯史郎

会員の皆様には、平素より教育後援会「創竹会」の活動にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。また、この度の新型感染症拡大によりその影響をお受けになられている会員並びに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

1月までは例年通り文研での創竹庵の開設、定例役員会等問題なく順調に進めてまいりました。感染症の拡大に伴い学校は2月末より休校となり、卒業式・入学式は規模を縮小して行われました。創竹会は学校と緊密に連絡をとり、第3回役員会を6月13日に、総会を7月17日に参加人数を減らして開催し議題について承認いたしました。

今年は、創立75周年の記念事業として目玉の体育館床改修工事(費用約2100万円)を前倒しにして夏休み中に行う予定でしたが、残念ながら夏休み短縮のため工期不足で来年に延期となりました。記念事業の支援金として皆様にお願ひしております「特別寄付」は、昨年度約750万円のご協力を頂きました。厚くお礼申し上げます。この「特別寄付」は引き続き継続して募集させていただきますので、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

8月5日にプレスリリースがあり、「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」が始動いたしました。このプロジェクトは、教員、教育委員会と企業がワンチームとなって公教育の10年後のあるべき姿を求め、新しい学校システム作りに挑戦するものです。今後の活動は、3年間で附属竹早地区にモデル校を設置し「未来の学校」に向けた大改革を推進していきます。そうした連携教育研究の成果と、生徒たちの多様性、個性を尊重しながら主体性を育む教育の実践の積み重ねは大きく評価されております。そして今後も創竹会と同窓会が連携してさらに協力して参る所存です。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、さらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

コロナ禍での学校の時間



学校長
藤本光一郎

創竹会の皆様からは日頃より多大なご支援をいただき、まことにありがとうございます。

コロナ禍の中、通学域の広い本校では、通学中の感染リスクを下げるために登校時間を1時間遅らせ、下校時間も早める、時差通学を実施しています。そのために、ぎりぎりの学習時間(通常の50分授業を45分に短縮)を確保すると、残る時間はわずかになり、部活動や委員会活動、行事など、竹早らしさが発揮できる活動は最小限にとどめざるを得ません。

竹中では、生徒同士で意見を出し合う中で互いに学びを深めるとともに、実物に触れたり、物を作ったり実験したりという体験も重視してきました。コロナ禍によって本校が大切にしてきた主体性を育む授業や活動の多くが実施困難となりました。ただ、そうとばかり言っておらず、教員は限られた条件の中で日々模索しながら授業を進めています。

月に1コマの部活動の時間に校内を歩いていると、ある教室からは吹奏楽、別の教室からは百人一首の読み、さらに別の教室では活動方針の話し合いなど様々な音が聞こえます。外では運動系の部が走っています。体育館からはキュッキュッというリズムカルな靴音。たった45分間のそうした時間が改めて貴重なものと感じました。また、昼休み生徒たちは教室の自席で飛沫防止のための透明パーティションを机の上に置き、前を向いてもくもくと食事をします。今までならば楽しいおしゃべりタイムだったのですが、一方で昼食後、授業までの15分間くらいが友達と自由に過ごせる時間であり、最初は教室前の学年ロビーが生徒たちであふれました。しかし、その時間は大事な息抜きの時間ということで、密にならないように居場所を拡大しました。消毒箇所は増えますが、生き生きとした生徒たちの姿や声を聴くにつけ見るにつけ、何とかこの場所と時間を守りたいと思うこのごろです。

リアルに竹中の様子を見ていただくことが難しい中、ホームページでの発信を充実させていく予定です。お時間のある時に本校ホームページをご覧ください。引き続きのご支援とご協力、よろしくお願ひいたします。

*ホームページ <https://www.u-gakugei.ac.jp/~takechu/>

令和2年度も創竹会はコロナ禍での学校生活を支えます



2004年度に国立大学が法人化されて以来、国からの運営費交付金は、毎年約1%ずつ削減され、外部の研究費や寄付金でその不足分を独自に賄う事になりました。大学からの予算も限られ、財政的に厳しい状況が続いています。竹早中学に対する附属学校教育研究費は法人化以前に比べて7割強の削減となっております。そんな中、子どもたちが安心して学校生活を過ごせるように、日々の生活におけるコロナ対策を創竹会は支えています。



新型コロナウイルス感染症対策



昼食時に生徒一人一人にパーテーション



パーテーションは校長自ら探してくださいました!



新たに設置トイレ用スリッパ35足



教員用のフェイスシールド



教科書の送料



日々の消毒グッズ



土足と上履きのゾーン分けのすのこ



教室の換気用扇風機 10台



保健室の引越し費用

創竹会とは?

創竹会は正会員(在学生の保護者)と賛助会員(正会員資格を有しないもので、本会の趣旨に賛同する個人、法人、団体)から構成されている教育後援会です。竹早中学校の教育活動及び教育研究に協力すること、ならびに会員相互の連携・親睦をはかることを目的としています。

塚越養護教諭より



創竹会の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃はもとより、コロナ禍のさなかにおきましても、本校の教育活動に深いご理解と多大なご支援をいただき感謝に堪えません。

学校では今も、安全な教育を維持するための必死の模索が続いています。校内で感染を拡げないために何が必要か、養護教諭の立場で情報を収集し考えました。「トイレスリッパを」「昇降口にすのこを」「校内のゴミ箱を全て蓋付に」「換気用扇風機を全クラスに」他にもスプレー容器、ペーパータオル、消毒薬、住居用洗剤…これほど切実に、膨大な要求をしたのは初めてです。副校長から「創竹会が扶けてくださる」と聞いたときの安堵と喜びも一入でした。

2学期を迎えるにあたって、保健室は1階に引っ越しました。生徒の動線から離れ、外から直接出入りができる場所です。感染状況は未だ予断を許しません。生徒の学びと安全を守るために、精一杯、努力してまいります。今後とも創竹会の皆様にお力添えを賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

養護教諭 塚越 潤

「特別寄付」へのご協力のお願い

昨今大学からの予算も限られ、財政的に大変厳しい状況が続いております。そのため、創竹会では東京学芸大学からの「寄付金領収書」を発行できる「特別寄付」制度を、2019年度に立ち上げました。国立大学法人を通した竹早中学への寄付については所得税制上(寄付金控除)の対象となります。1年をとおして募集しておりますが、大学からの「寄付金領収書」発行の手続きには時間が必要なため、領収書が必要な場合は8月31日をもって締め切らせていただいております。1口10,000円で1口以上、何口でも結構です。払込取扱票に下記を明記の上、お振り込みください。

振込手数料は、誠に勝手ながら各自ご負担ください。

口座番号: ゆうちょ銀行 00180-9-392665

加入者名: 創竹会

通信欄: 在籍期と生徒氏名(〇〇期 竹早太郎)

ご依頼人: 領収書に記載する方の住所、氏名

※ご寄付いただいた皆様、ありがとうございました。来年の領収書をご希望の場合は、令和3年1月1日～8月31日までに振込をお願いいたします。

皆様からの会費は“貴重な財源”です。
引き続きのご協力を何卒宜しくお願いいたします。

